

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【公開番号】特開2009-244412(P2009-244412A)

【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-042

【出願番号】特願2008-88681(P2008-88681)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/60 (2006.01)

H 0 4 N 13/04 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/60 Z

H 0 4 N 13/04

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 F 1/13 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月22日(2010.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入射光を拡散透過させる第 1 の状態と入射光を非拡散透過させる第 2 の状態とに切り換わるスクリーン部を有した光散乱型液晶表示素子と、

第 1 の画像を表示する表示面が前記スクリーン部と平行になるように且つ前記スクリーン部と重なるように、前記表示面が前記スクリーン部に向けられて配置された第 1 の画像表示手段と、

前記スクリーン部のうちの所定の領域に向けて、前記第 1 の画像とは異なる第 2 の画像としての光を投射する第 2 の画像表示手段と、

前記スクリーン部のうちの前記所定の領域に対応する領域を前記第 1 の状態に制御するとともに、前記スクリーン部のうちの他の領域を前記第 2 の状態に制御する制御手段と、を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記第 2 の画像表示手段は、前記第 2 の画像としての光を投射する領域を可変可能に形成され、

前記制御手段は、前記第 2 の画像としての光が投射される領域に対応させて前記スクリーン部の状態を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

入射光を拡散透過させる第 1 の状態と入射光を非拡散透過させる第 2 の状態とに切り換わるスクリーン部を有した光散乱型液晶表示素子と、

第 1 の画像を表示する表示面が前記スクリーン部に向くように配置された第 1 の画像表示手段と、

前記スクリーン部のうちの所定の領域に向けて、前記第 1 の画像とは異なる第 2 の画像としての光を投射する第 2 の画像表示手段と、

前記スクリーン部のうちの前記所定の領域に対応する領域を前記第 1 の状態に制御するとともに、前記スクリーン部のうちの他の領域を前記第 2 の状態に制御する制御手段と、を備え、

前記第 1 の画像表示手段は、前記表示面との間に前記スクリーン部が介在するように前記スクリーン部を観察するユーザが、前記他の領域を介して前記表示面を視認可能なように配置されていることを特徴とする表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項 1 に記載の発明に係る表示装置は、入射光を拡散透過させる第 1 の状態と入射光を非拡散透過させる第 2 の状態とに切り換わるスクリーン部を有した光散乱型液晶表示素子と、第 1 の画像を表示する表示面が前記スクリーン部と平行になるように且つ前記スクリーン部と重なるように、前記表示面が前記スクリーン部に向けられて配置された第 1 の画像表示手段と、前記スクリーン部のうちの所定の領域に向けて、前記第 1 の画像とは異なる第 2 の画像としての光を投射する第 2 の画像表示手段と、前記スクリーン部のうちの前記所定の領域に対応する領域を前記第 1 の状態に制御するとともに、前記スクリーン部のうちの他の領域を前記第 2 の状態に制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 2 に記載の発明は、前記請求項 1 に記載の表示装置において、前記第 2 の画像表示手段は、前記第 2 の画像としての光を投射する領域を可変可能に形成され、前記制御手段は、前記第 2 の画像としての光が投射される領域に対応させて前記スクリーン部の状態を制御することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 3 に記載の発明に係る表示装置は、入射光を拡散透過させる第 1 の状態と入射光を非拡散透過させる第 2 の状態とに切り換わるスクリーン部を有した光散乱型液晶表示素子と、第 1 の画像を表示する表示面が前記スクリーン部に向くように配置された第 1 の画像表示手段と、前記スクリーン部のうちの所定の領域に向けて、前記第 1 の画像とは異なる第 2 の画像としての光を投射する第 2 の画像表示手段と、前記スクリーン部のうちの前記所定の領域に対応する領域を前記第 1 の状態に制御するとともに、前記スクリーン部のうちの他の領域を前記第 2 の状態に制御する制御手段と、を備え、前記第 1 の画像表示手段は、前記表示面との間に前記スクリーン部が介在するように前記スクリーン部を観察するユーザが、前記他の領域を介して前記表示面を視認可能なように配置されていることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】